

# ひばごんだより

第2号  
2021.6 発行  
八銚自治振興区

**事業部**

今野 真吾 (高尾)

長谷川 由美 (油木)

堀井 康夫 (三坂)

前田 忠範 (三坂)

**総務企画部**

柳生 逸子 (八銚落合)

板倉 孝 (八銚落合)

長尾 充久 (油木)

堂本 雅彦 (油木)

副会長 定木 文宜 (三坂)

会長 片山 悟 (八銚落合)

副会長 織田 みね子 (高尾)

副会長 高原 芳典 (油木)

## 八銚自治振興区を支える 令和3年度役員紹介

朽木 忠範 (三坂)

**生涯学習部**

鉄岡 誠 (高尾)

高井 美和子 (高尾)

廣田 弓起子 (高尾)

青年部部长 横路 篤史 (高尾)

高齢者部部长 中島 章伸 (八銚落合)

須田 康則 (高尾)

**八銚自治振興センター職員**

事務局長 柳生 光明

事務局長 伊折 紗也加

地域マネージャー 山上 浩司

地域マネージャー 今田 容子

地域マネージャー 今村 舞由美

たまき (2歳)

## 芸備線・木次線ニュース

芸備線と木次線の落ち合い、連日鉄道マニアで賑わう秘境駅「備後落合駅」。備後落合駅の近くに住む元国鉄機関士の永橋則夫さんが、2017年4月からほぼ毎日、待合室とトイレの掃除、14時の3方向の列車が落ち合う時間にボランティアガイドを行っています。活動のきっかけは三江線の廃止決定。「芸備線もなくしちゃいけないとの想いから、生涯の活動にしていきます。」と語られます。今春からは「こども駅長」も登場し、可愛い姿で備後落合駅を賑やかしてくれています。コロナ禍以降、芸備線を取り巻く環境は厳しい情勢にあります。一人でも多くの皆様に芸備線・木次線を利用していただきたいと思うところです。



左：たくさんの横断幕や写真に囲まれ、賑やかになった待合室と永橋さん  
右：こども駅長の須谷初（うい）ちゃん2歳。列車を見るのが日課です。

## 高齢者の野菜、出荷しています

八銚自治振興区では高齢者の見守り活動と生きがい支援として、玉ねぎの生産販売と農産物の販売を行っています。担当の地域マネージャーが野菜づくりをされている高齢者のお宅を訪問し、集荷・出荷を行っています。野菜の出来栄を聞いたり、色々な話をするのも楽しい時間です。野菜の出荷先は「福祉施設ゆうしゃいん庄原」「愛善苑」「西城保育所」等で、昨年の出荷量は玉ねぎ1.4t、提供農家さんは14軒でした。「人生の先輩やひ孫のような子に、作った野菜を食べてもらえてうれしい」と好評です。この地域は庄原市内で最も高齢化率が高い地域ですが、高齢になっても生きがいを持って元気でいられることが、地域の活力です。



## 「ひろしま県民の森」再開！

昨年8月から利用を休止していた「ひろしま県民の森」が、「株式会社アグリヒバゴン」を指定管理者に迎え、2021年4月1日にオープンしました！

「山を楽しみ、館内でもゆっくり癒されて欲しい」との想いから、ロビーや体験メニューもリニューアル。軽食や珈琲を片手にくつろげるおしゃれなロビー、充実のテイクアウトメニューや初心者でも手ぶらで楽しめるキャンプ体験、服に匂いのつかない無煙ロースターで室内で楽しむ比婆牛BBQなど、登山やキャンプなどが初めての方も気軽に楽しめるメニューが増えました。

今年で開園50周年を迎えるひろしま県民の森、笑顔変わらず装い新たに再スタートです。



地元の素材を味わえるメニューに舌鼓。

## 地域防災「一人も取り残されない地域に」

異常気象で「100年に一度」の災害が全国で毎年のように発生している今、八銚自治振興区では自然災害に備えて「災害が起こる前に避難する」を地域で徹底できるよう、八銚落合自治会をモデル地域として自主防災組織作りに取り組んでいます。

災害時に備えて、日頃から自治会の行事やサロンの開催など、隣近所で声を掛け合う習慣を作っています。環境的には厳しい地域ですが、隣近所で支え合う体制が普段から出来ているところが、八銚の長所でもあります。

いざという時の「お互い様の支え合い」ができることを、地域の強みとして、安心して「最後まで暮らし続けられる地域」を目指していきます。

3月6日に開催した「防災研修会」



# やほこに Uターン！

## 堂本雅彦さん・治子さん（油木）



今回は、7年前に広島市からUターンされ、野菜づくりを楽しみ、地域活動にも積極的に参加をされ「田舎生活」を楽しんでいる、堂本さん夫妻を紹介します。

### Uターンのきっかけは

いわゆる「墓守り」です。母が亡くなり空き家になった家土地の管理のために毎回広島から油木に通うのは大変だと。どうせなら帰ろうかと思い、住んでいたマンションを息子に譲って、66歳の時に約38年ぶりの田舎生活を始めました。

### 田舎生活で楽しいことは

土いじりが楽しいです。帰ってきた当時「いつでも畑に居るね」と言われる程でした。畑は全くやったことがなくて、思った通りにならない、そこがまたいいです。

仕事人間だったので、退職後は都会ではすることがあまりなかったけれど、田舎ではやるのがなんぼでもある！何でも自分でやらざるを得ないですね。家のことも地域のことも。やらなきゃやらんで済むけれど、関わりを持つと思うと何でもできます。そこもまた、面白いです。



左：家の前の畑で。野菜がスクスク育ちます。

右：自宅の玄関で。古民家も田舎暮らしの醍醐味。

### 田舎生活に思うこと

油木での生活は、正直広島と比べて不便は感じていません。（車が運転できなくなったら不便ですが。）

この度のコロナ禍もそうですが、非常事態が起きた時に田舎は強いな、と感じています。密なのに近所付き合いのない都会とは違って、人は近いけれどゆったり暮らせる田舎を見直したいです。

田舎に家屋敷がある方、ぜひ田舎暮らしをしてみてください。

「そんなに悪くない」ですよ。

# やほこメシ！

## ドライブインおちあい

（庄原市西城町熊野 500-10）



お弁当を配達されている兼本さん。

西城町内の職場や高齢者宅など毎日約20食程のお弁当を宅配されています。「宅配は商売ベースで考えると厳しいですが、喜んでくださるのを励みにがんばっています」と兼本さん。優しい味付けで丁寧なお弁当は飽きが来ず、毎日頼む人もいます。

創業42年、備後落合駅から約800mの立地で「おでんうどん」が有名ですが、鳥取県から仕入れる魚を使った定食の美味しさも定評があり、どのメニューも丁寧で心に染みる美味しさ。昼も夜も、手作りご飯が食べられ、家庭のような安心感がある良き田舎の食堂です。



日替わり弁当500円。おかずが沢山！味もボリュームも大満足です！

高齢者や一人暮らしの食卓を支えたり、地域の行事に欠かせないお弁当。

今回は田舎のお昼を支える「手作り弁当」で、地元で愛されている個人店を紹介します。

## 峠のキッチンやまびこ

（庄原市西城町三坂 693-1）



クロカンパーク隣、青い看板が目印。

地域のイベントやサロンで注文される弁当の他、最近は三坂内の事業所への日替わり弁当も配達されています。「地域で昼ごはんが食べれる安心感を作りたい」と前田さん。ゆくゆくはお店でランチも考えているそう。

長らく地域で愛された「峠の茶屋やまびこ」が、「峠のキッチンやまびこ」として昨年オープンしました。店主は前田忠範さん。茶屋時代の味を引き継ぎ、地元で採った山菜をふんだんに使った弁当など、田舎ならではの優しい味付けと美しい盛り付けが好評です。



イベント弁当は600～1,500円。見た目も華やかで旬の味がたっぷり。

## 八銚自治振興区の活動を紹介します

### しいたけ栽培講座



農業体験講座の指導者育成を兼ねた、しいたけ栽培講座を開催しています。4月に「植菌台作り」と「しいたけの菌植作業」「仮伏せ」を行いました。来年の秋にはしいたけの収穫が出来るそうです。今後八銚でしいたけの植菌や収穫が体験できる交流事業を開催したいと思っています。

### ガーデニング教室



4月と5月に2回、ガーデニング教室を開催しました。八銚自治振興センターのウッドデッキ周辺に大きな花壇を作り、シンボルツリーや色とりどりのたくさんの花を植えました。庄原さとやまオープンガーデンを目指して、今後も花の世話や花を使った楽しい企画をしていきます。

### パークゴルフ&ウオーキング



道後山高原クロカンパークのパークゴルフ場を活用して、健康づくりとレクリエーションを兼ねたパークゴルフを月に2回開催しています。自然に囲まれたクロカンパークでのプレイはとても気持ちがよく、仲間と一緒に楽しく体を動かしています。

上記の3事業は、地域内外の方も参加できる交流事業にしたいと考えています。八銚にお住まいでない方も、ご帰郷の際にはぜひご参加ください。

行事の情報はホームページで公開しています。予約制ですので、八銚自治振興センターまでお電話ください。  
\*コロナ禍において、現在は参加募集を中止しております。

## 八銚自治振興区のホームページをリニューアルしました



<https://www.yahokojichi.com>

「ヒバゴンビレッジやほこ」で検索してください



八銚の旬の情報も発信中です。ぜひご覧ください。



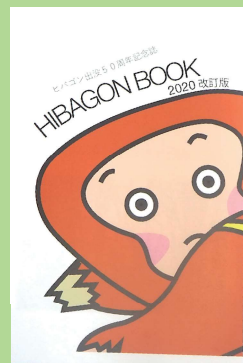
## PR

### ヒバゴン50周年記念誌 「HIBAGON BOOK」発売

ヒバゴン出没50周年を記念して「HIBAGON BOOK」2020改訂版が発売されました。1970年7月20日に西城町油木で初めてヒバゴンが目撃されてから50年。出没から現在に至るまでのヒバゴン年表、ヒバゴンに関わった人達や探検隊、更に映画「ヒナゴン」渡邊孝好監督のインタビューなど盛り沢山の内容です。

発行：NPO 法人西城町観光協会  
オールカラー 34p  
販売価格 800円  
郵送料別途210円

購入を希望される方は、電話・メール等で八銚自治振興センターまでご連絡ください。



最後までお読みいただきありがとうございました。ご感想等いただけましたら大変嬉しいです。八銚の輪を広げるため、八銚の地縁の方に「ひばごんだより」を送付させていただきたいので、ご家族や知人で広報誌を送付希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

発行：八銚自治振興区  
広島県庄原市西城町小島原 615-1  
tel: 0824-84-2363  
mail: yahoko.jichi@u-broad.jp